

洞爺湖有珠火山マイスターから学ぶ日本の防災

～中南米 JICA 研修員 10月31日から3年ぶりの有珠山研修～

JICA 北海道(札幌)が実施している課題別研修「中南米地域火山防災能力強化」では、チリ、コスタリカ、エクアドル、グアテマラ、メキシコ、ニカラグア、ペルーから12名の研修員が3年ぶりに来日し、日本の火山防災を学び相互に経験を共有します。

本研修は、特定非営利活動法人火山防災推進機構の協力のもと、活火山が多く存在している中南米地域の火山防災能力の向上に貢献することを目的としています。日本の火山防災について伝えることはもちろん、中南米諸国の取り組みについても共有することで、日本と中南米双方の火山防災能力の向上に貢献することが期待されます。本研修の取材をぜひご検討ください。

〈研修の主なスケジュール〉

10月31日(月) 2000年噴火遺構公園ルート(洞爺湖町)

11月1日(火) 洞爺湖西山山麓ルート/ジオパークの経緯(洞爺湖観光情報センター3階)

11月2日(水) 有珠山周辺の火山視察(入江高砂貝塚館)

火山マイスターとの意見交換(そうべつ情報館2階)

11月3日(木) 三松正夫記念館視察/昭和新山第4火口視察

11月4日(金) 火山防災教育の実践・実験(サミット記念館3階)



【本件に関する問い合わせ先】

JICA北海道(札幌) 研修業務課 細川

TEL011-866-8393/080-7140-1172 e-mail : Hosokawa.Tomoyo@jica.go.jp